



ニッポン・ニューマーケット「ヘラクレス」

平成 20 年 2 月 7 日

各 位

会社名 株式会社ブロードバンドタワー
代表者名 代表取締役社長 大和 敏彦
(コード番号 3776 大証 ヘラクレス)
問合わせ先 常務取締役 佐藤 康夫
(TEL. 03 - 5573- 8181 代)

中間期連結業績予想および中間期個別業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 8 月 22 日に公表した平成 20 年 6 月期（平成 19 年 7 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）の中間期連結業績予想ならびに中間期個別業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 6 月期中間期連結業績予想数値の修正（平成 19 年 7 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	4,550	30	10	0	0 円 00 銭
今回修正予想（B）	4,732	125	125	45	497 円 22 銭
増減額（B－A）	182	95	115	45	—
増減率（%）	4.0	319.7	1,150.5	—	—
前期実績（平成 19 年 6 月期中間）	4,166	478	478	1,331	13,743 円 57 銭

2. 平成 20 年 6 月期中間期個別業績予想数値の修正（平成 19 年 7 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	4,350	40	20	10	109 円 83 銭
今回修正予想（B）	4,427	116	118	19	210 円 42 銭
増減額（B－A）	77	76	98	9	—
増減率（%）	1.8	192.0	492.2	91.6	—
前期実績（平成 19 年 6 月期中間）	4,078	502	506	1,358	14,022 円 29 銭

2. 修正の理由

主な要因といたしましては、ストレージ需要の増加に伴い、ストレージ機器販売が好調に推移したことと、運用受託サービスの拡大に加え、連結子会社のビービーエフによるECシステム構築支援が増加したことにより、平成20年6月期中間期の業績が当初の予想より上回る結果となりました。

以上の理由より、業績予想の修正をいたします。

なお、下期における当社グループのおかれている市場環境としては、堅調なデータセンターの需要増加、運用アウトソース市場の拡大が継続するものと予想しております。当社としては、こうした市場環境に対して引き続きスペースサービス、プロダクト販売を推進するとともに、高付加価値ソリューションサービスである高品質なホスティングサービスの提供に力を注いでまいります。また、コスト面につきましては、継続的な原価の低減と適切な設備投資の実施、ならびに全社的な販売管理費の抑制を進めてまいります。一方、販売の時期ずれや顧客の仕様変更等による不確定な要素も予測されるため、通期の業績見通しにつきましては変更しておりません。

以上

(注) 本資料に掲載されている業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報をもとに当社が合理的に判断したのですが、不確実性を含んでおります。実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。